



文責校長 住田義広

# 鴨川だより

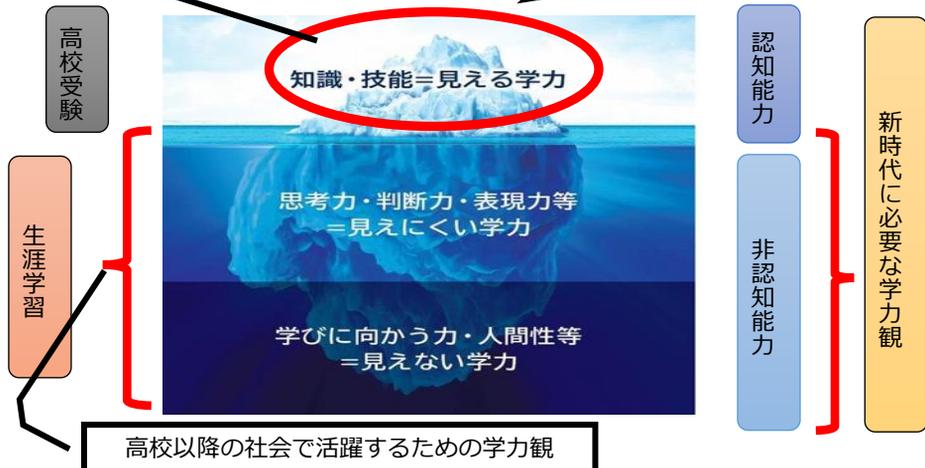
第21号 令和4年12月14日

生徒が主体的に未来を創る学校

## 文部科学省が求める真の学力観

高校入試等で必要な学力

校内順位は意味の無い指針であり、到達度テストの得点確保状況のみが判断資料となる。



【生徒のみなさんへ】

Society5.0時代を迎え、予測困難な社会となっていく中で、生徒のみなさんの前には、これまで先生たちや保護者のみなさんが歩んできた社会とは違う世界が広がっています。

高校での教育内容もどんどん変わっています。高校では、本校が進める協同学習をいち早く取り入れながら、課題解決型学習でいわゆる見えない学力を育成しようとしているようです。

みなさんは、なぜ学んでいるのでしょうか？おそらく進学のためだけではないですね。社会に出て活躍できる力を身に着けようとしているのですよね。そのための学習です。

もちろん、高校受験も目前に控えていますので、テストで得点を確保しなければなりません。そのためには、厳しい努力が必要です。学校では、先行学習課題を与え、予習したことを生かして学習内容を深めるようにしています。一斉指導で先生が説明し続ける授業では、黙っているだけで聞いていない「お客さん」が多かったのは事実です。みんなで教え合い、話し合う中で学習内容を深めていく活動では、「お客さん」になれません。また、これからの社会では非認知能力の中での「表現力」は重視されます。わかりやすく説明できる力は授業の中で説明し合う行為の中で育まれます。これからも協同学習を大切にしましょう。

また、学習内容の理解度はそれぞれによって差があります。自分の理解度を把握して、「スタディサプリ」や「ミライシード」で徹底的に学びなおしをしましょう。「スタディサプリ」は、小学校の学習内容も復習できます。高校受験にも対応できています。冬休みに頑張ってみると成果は出るのではないかと思います。

自分が高校入試等でどれだけ得点を取れる力がついているかは、生徒のみなさんも一番関心が高いのではないかと思います。テストで得点をどれだけとれるかという力を見るためには、単元テストや単元総合テストの得点ではなく、到達度確認テストを重視していかなければなりません。今後も続いていく到達度確認テストを大切にいきましょう。

自分の学力を高めるためには、自分の到達度を知り、どこから分かっていないのか、どこが弱いのかを自己分析してわからないところや弱点の部分から教科書を読み込み、自分でまとめたり、スタディサプリやミライシード、その他のワーク等で再確認するしかありません。

前の内容を自分で再チャレンジするのは面倒くさいでしょうが、そうしなければ多分成果は上がらないと思います。苦しいでしょうが、自分のために頑張ってみましょうね。わからない項目があれば各教科の先生に遠慮なく質問しましょう。丁寧に教えてくれるはずですよ。

### 【一番良い学習の進め方の例】

- 日頃の授業では、先行学習を必ず実施して、積極的に授業に参加する！（知識だけでなく表現等を！）
- 各単元末テストに向け、自分で学習計画を立てて取り組む！（1年間が試験期間中）
- 自分の弱点を知り、スタサブ等で自主勉強に取り組む！（やる気になれば誰でもできる！）
- 記憶する学習内容は自分で徹底して覚える！（自分なりの覚え方を探ろう！）



生徒用のネット相談窓口を開設しています。悩みがあったら相談してください。右のQRコードからClassroom「荘内よろず相談窓口」に入れます。



### 【保護者のみなさんへ】

荘内中学校では、生徒の活躍や様々な学校の方針等を随時、学校ホームページで紹介しています。お暇なときにはぜひご覧ください。右のQRコードでご覧いただけます。